

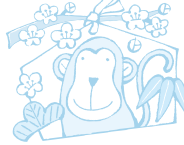
# 代表質問の要旨

※本文は質問者自身の原稿によるものです

- 会派名
- 新 政 会
- 市政同志会 2015
- 市民派連合
- 清風クラブ
- 日本共産党
- 公 明 党

**新 政 会**  
 質問者 横沢 英一  
 金子勝寿・牧野直樹  
 金田興一  
 持ち時間115分

## 魅力ある地域に住みたい



◆塩尻の認知度を上げ人口増  
 展開で、人口6万5千人を目指す主な施策と取り組みは。

【答】第五次総合計画では、人口減少社会であっても、本市が選ばれる地域であり続けるため潜在力や地域の資源に磨きをかけて活用し、3本の基本戦略と具体化する10のプロジェクトを打ち出している。実践に移すには市民の皆さんとの継続した話し合いと自分達の地域に愛着と誇りを持ち続けることが必要。活動協議会を推進母体として持続的に発展させるため、地域の魅力を内外に効果的に訴求し、人・物・金・情報を市外から呼び込み、資源を地域内部で活用していくことにより確実にステップアップしたい。

◆新体育館基本計画は基本計画策定の主な内容と体育館の広域利用、連携、維持管理や管理方式等についての考えを。

【答】建設場所等決定していくため、競技スポーツ振興と健康体力づくりの拠点として、どの様な施設とすべきか、敷地面積、アクセス道路等7項目を検討する。特に松本歯科大学との連携は重要部分と考える。利活用の広域圏域での考えは人口減少社会に向けた研究課題。また利用しやすい施設や自然エネルギーの活用またネーミングライツ等の財源確保や維持管理費軽減、管理方法はPFI方式や指定管理方式等も検討したい。

◆高齢社会と塩尻の現状  
 【問】高齢化、介護施設の計画は。また、介護における10年

【問】民間業者が東山区に建設予定の管理型最終処分場を仮に地元同意が無いまま県が建設を許可した場合の対応は。

【答】地元同意が無いものを無理に造れば住民も業者も双方が不幸になる。その様になるならば、市長の立場では反対を明確にする。

◆魅力ある街づくりを  
 【問】国道19号九里巾交差点改



首都圏と地域の若者の意見交換会

後の財源見込みと健康寿命を延ばす施策を積極的に。

【答】将来設計では平成37年度高齢化率は30%に上昇し、広域型特養3施設でベッド数358床、要介護3以上の待機者が172人いる。一方松本圏域管内では、特養を希望される人は896人が在宅で待機している。「第八期介護保険事業計画」では、塩尻市内に55床規模の広域特養を平成30年に開所する計画をしている。一般会計からの繰出金は平成37年度の試算では10億3千万円に上り、今後市の財政負担も大きい。

健康寿命を伸ばし自立した日常生活は、市民の望みであり、医療費や介護給付費の抑制の観点からも重要。運動習慣の働きかけ等により健康施策に積極的に取り組む。

◆環境保持は大切な活動  
 【問】民間業者が東山区に建設予定の管理型最終処分場を仮に地元同意が無いまま県が建設を許可した場合の対応は。

【答】地元同意が無いものを無理に造れば住民も業者も双方が不幸になる。その様になるならば、市長の立場では反対を明確にする。

◆魅力ある街づくりを  
 【問】国道19号九里巾交差点改